



iPhone 6sのTaptic Engineの交換

iPhone 6sのTaptic...

作成者: Evan Noronha



はじめに

iPhone 6sのTaptic Engineを交換する際は、このガイドを参照してください。Taptic EngineはiPhoneのバイブレーション機能とハプティック振動モーターを動かしています。iPhoneのバイブレーション機能が動かない時やバイブレーション中に振動音が響かないときはTaptic Engineを交換する必要があります。

ツール:

[Tournevis Pentalobe P2 pour iPhone](#) (1)

[Tournevis cruciforme #000](#) (1)

[Ventouse](#) (1)

[Spudger \(spatule antistatique\)](#) (1)

[Pincettes de précision](#) (1)

[iOpener](#) (1)

or hair dryer

部品:

[iPhone 6s Vibrator](#) (1)

[Film adhésif pour l'écran de l'iPhone 6s](#) (1)

手順 1 — ペンタローブネジ



 iPhoneを分解する前に、バッテリーを25%以下まで消費してください。充電されたリチウムイオンバッテ

リーは、もしアクシデントで穴が空くと引火したり爆発する恐れがあります。

- ① 分解する前に、iPhoneの電源をオフにします。
- iPhoneの下端、Lightningコネクタの両側にある2つの3.4 mm P2 Pentalobeネジを外します。

手順 2 — 開口方法



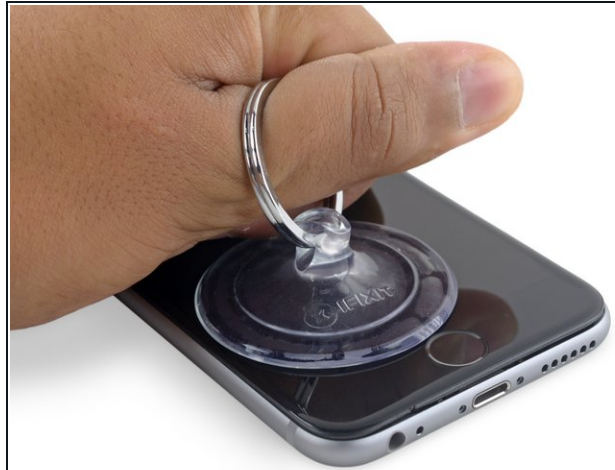
- リバースクランプを持っていない場合は、吸盤ハンドルを準備して、次の3つの手順を参照しながら作業を進めてください。
- 温めた[iOpener](#)やドライヤーなどで、iPhoneの下辺に1分程度、軽い熱を充てます。
- ① 熱によってディスプレイを固定している接着剤が柔らかくなり、開口しやすくなります。

手順 3



- ① 6sのディスプレイを開口するにはディスプレイ周囲の薄い接着タブを剥離しなければなりません。作業前に接着タブの交換用接着タブを用意してください。接着タブを交換しなくても修理は可能で、おそらく機能性の違いを感じることはありません。
- 吸盤カップをディスプレイアセンブリの左側下部の端に当てます。
- ホームボタンの上に吸盤カップを取り付けないでください。
- ディスプレイのひび割れ状態が広範囲の場合は、[透明の梱包テープを表面に貼ってください](#)。吸盤カップが取り付けやすくなります。あるいは、吸盤カップの代わりに強力なガムテープを使用することもできます。全ての方法が上手くいかない場合は、吸盤カップに強力ボンドを壊れたスクリーンに付けて固めてください。

手順 4



- 吸盤カップを均一の強さで持ち上げます。その際、フロントパネルとリアケースの間に小さな隙間を作ります。
- ① 時間をかけて丁寧に、均一の力加減で持ち上げます。このディスプレイアセンブリは他のデバイスに比べてしっかりと接着されています。
- ⚠ 強く引っ張りすぎるとディスプレイアセンブリにダメージを与えてしまうことがあります。ディスプレイアセンブリとリアケースの間に、小さな隙間を作るぐらの力加減で持ち上げます。
- 作業が上手く進まない場合は、iOpenerやヘアドライヤー、ヒートガンなどを使ってiPhoneの正面側を温めてください。熱くて触れない程度まで温めます。ディスプレイ端に沿って留められた接着剤を柔らかくすることができます。

手順 5



- ① ヘッドホンジャックのちょうど真上、ディスプレイの下に隙間ができます。この箇所がデバイス本体を開口する際に最も安全な場所です。
- スパッツァーの平面側先端を、ヘッドホンジャック上部のスクリーンとリアケースの隙間に差し込みます。

手順 6



- フロントパネルアセンブリとデバイス本体の間に作った隙間を広げるためにスパッジャーをひねりながら動かします。

手順 7



- ディスプレイアセンブリとリアケースの左側にスパッジャーの平面側先端を差し込みます。
- 接着面を切り込みながらクリップを外していき、スパッジャーをデバイス本体の左側からの上部に向かってスライドします。

手順 8



- スパッジャーを一度抜いて、最初にスパッジャーを差し込んだ位置、本体の下部端に再度差し込みます。
- 次はスパッジャーをデバイス本体下部の右側に向かってスライドします。

手順 9



- 続けてスパッジャーを右サイドに沿ってスライドしながら圧着剤を切り込み、ディスプレイのクリップをiPhoneから外します。

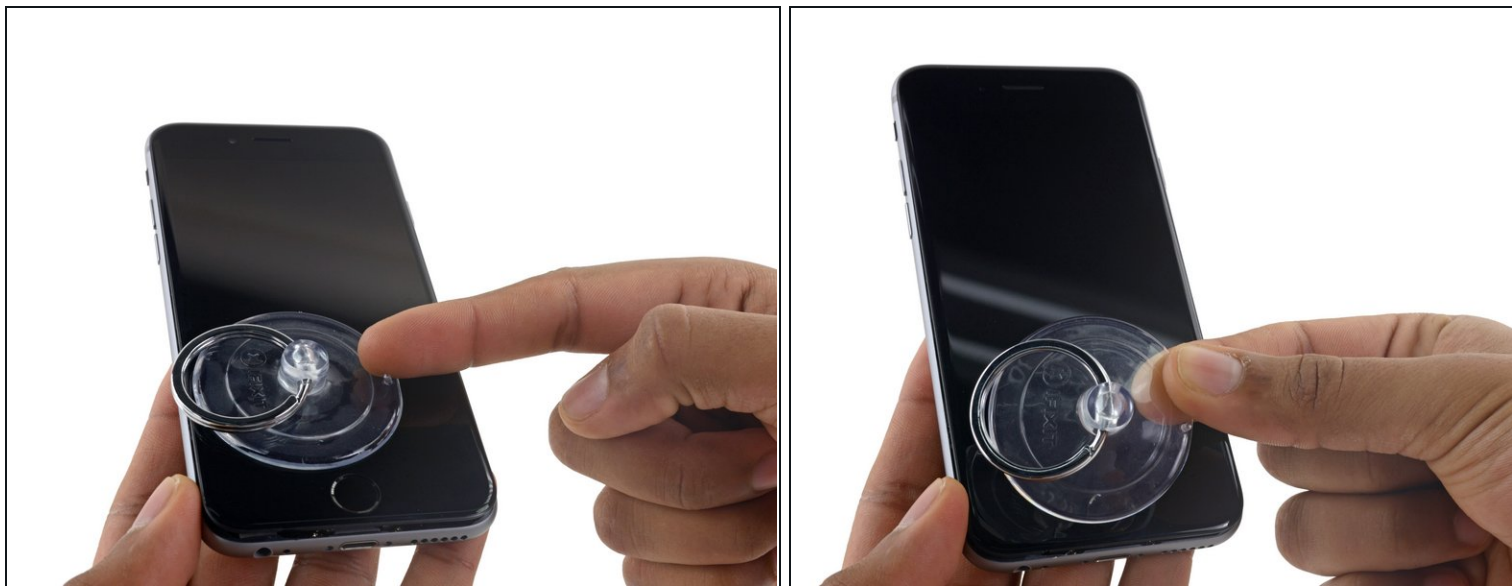
手順 10



- 吸盤カップをディスプレイから持ち上げながら開き、残りの圧着剤部分を剥がします。

⚠ 3本のケーブルが本体上部で繋がっているため、90度以上ディスプレイを開かないでください。開きすぎるとケーブルを切断してしまいます。

手順 11



- 吸盤カップのノブを緩めて、フロントパネルからカップを外します。

手順 12



- ディスプレイアセンブリを丁寧に手で押さえてデバイス本体から持ち上げます。上部に留められたクリップを蝶番にして開いてください。
 - ディスプレイを約90度まで開き、この位置で固定したままにします。衝立を利用してください。
 - 作業中、ディスプレイがしっかりと固定されるように、輪ゴムで留めてください。ディスプレイケーブルへの予期せぬ損傷を防ぎます。
- ① 急ぎの時は未開封の飲料用缶を利用して、ディスプレイを固定できます。

手順 13 — バッテリーコネクタ

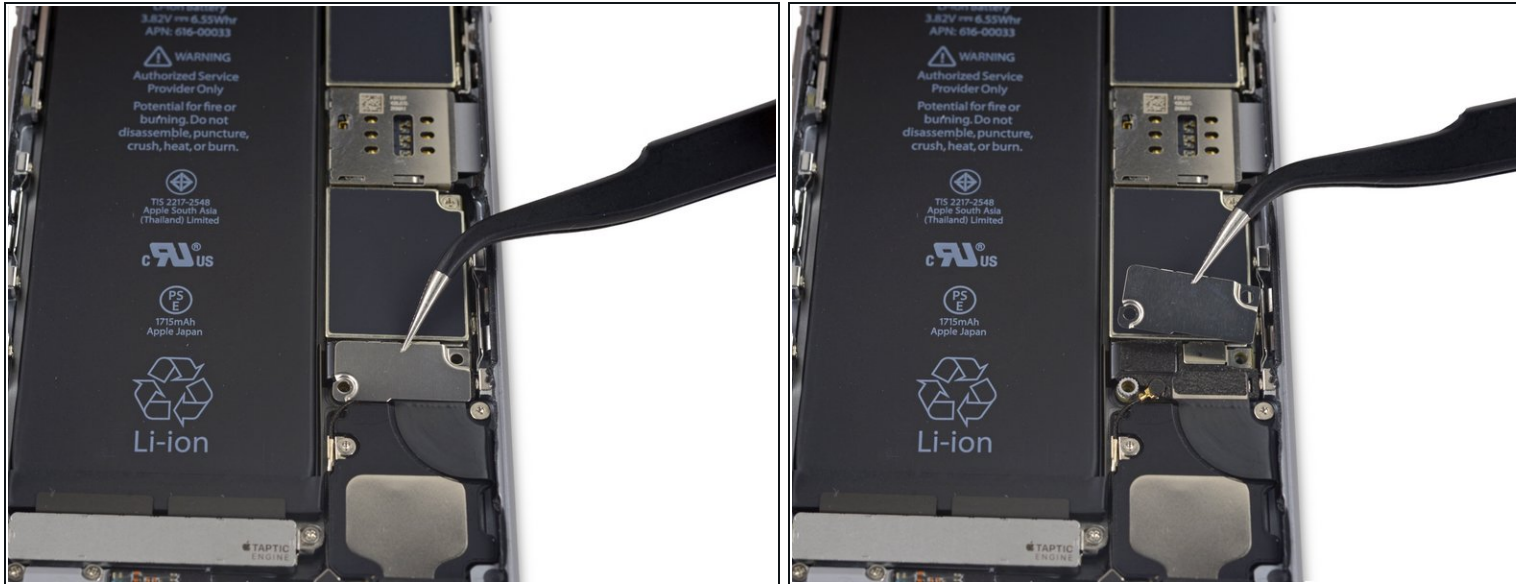


- バッテリーコネクタ用ブラケットを固定している次の長さのネジを2本外します。
- 2.9 mmネジ—1本
- 2.2 mmネジ—1本

- この修理作業の間、ネジをきちんと管理してください。再組み立ての際は、元あった場所に取り付けます。間違った位置にネジを取り

付けると、iPhoneにダメージを与えてしまいます。ご注意ください。

手順 14



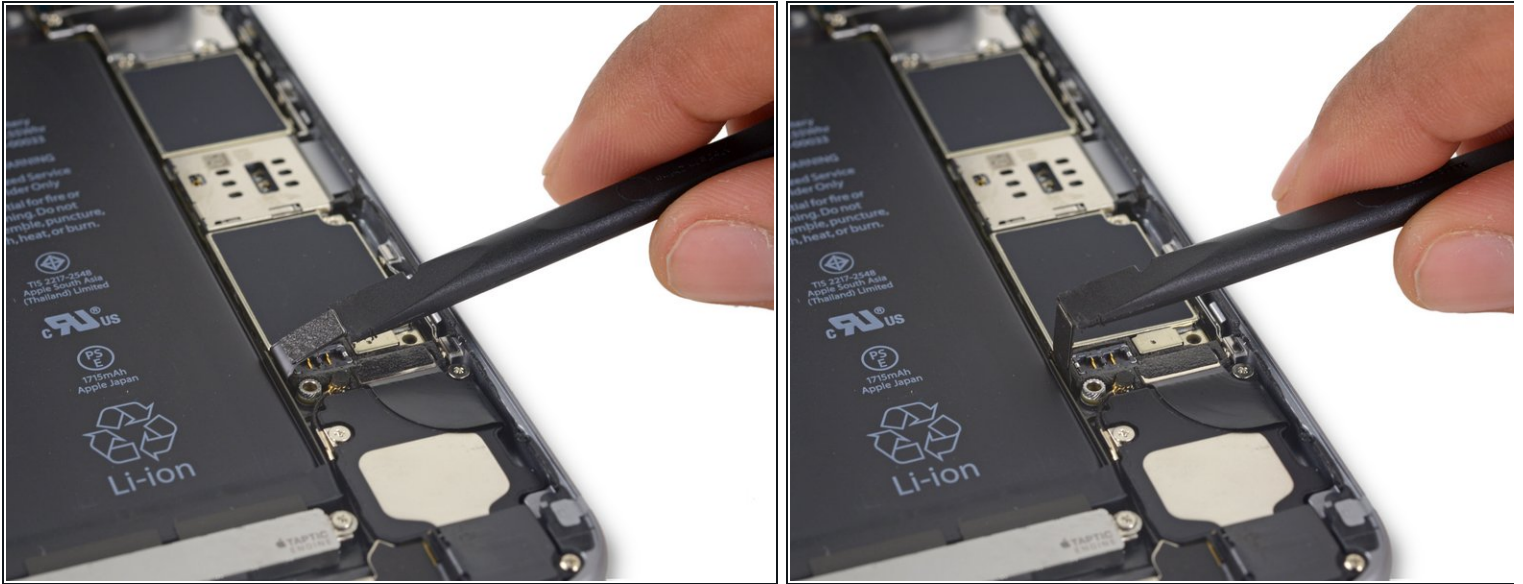
- iPhoneからバッテリーコネクタ用ブラケットを取り出します。

手順 15



- スパッジャーの先端を使って、ロジックボードからバッテリーコネクタを上を持ち上げて外します。

手順 16



- 作業中、アクシデントでバッテリーが接続しないよう、ロジックボードからバッテリーコネクタを引き離し、ソケットから完全に離れた位置で固定します。

手順 17 — Taptic Engine



- Taptic Engineを固定している2本の1.5 mmプラスネジを外してください。

手順 18



- iPhoneからTaptic Engineを取り出します。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。